

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

「津市多面的機能活動のつどい」を開催しました



受賞された組織の皆様の記念撮影

平成28年10月12日（水）に、津市白山町の津市白山総合文化センター「しらさぎホール」で「津市多面的機能活動のつどい」を開催しました。

津市内で多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の中から他の組織の模範となるような優れた活動を表彰するとともに、活動組織間の情報交換や意見交換を行うことでより一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に開催しました。津地域で初めての開催であったにもかかわらず、81組織から242名の参加があったほか、土地改良区、農業委員会、市、県等関係団体からの参加も含めると、300名を超える参加者となりました。

本つどいでは、主催者を代表して津市の前葉市長のあいさつの後、津市内で多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織のうち応募のあった11組織の中から、他の組織の模範となる優れた活動を行っている次の4組織に、優良活動表彰として市長賞が贈呈されました。

- ・神戸山田環境保全会（津市神戸）
- ・中瀬地区農地・水・環境保全会（津市河芸町）
- ・足坂農地・水保全組織（津市美里町）
- ・二本木地区環境保全会（津市白山町）

表彰を受けられた各組織から取組事例の発表を頂いた後、優良活動表彰の審査をお願いした三重県農村地域資源向上委員会委員を務められる三重大学生物資源学部の大野研先生、伊藤良栄先生にも加わって頂き、「先駆性がある活動、地域特性を活かした活動」をテーマにパネルディスカッションを行いました。大野先生のコーディネートのもと、活動内容に対する質疑応答なども含めながら、意見



前葉市長のあいさつ

交換をして頂きました。

最後に、津農林水産事務所の田中所長のあいさつで閉会しました。

参加者の皆様にご協力頂いたアンケートでも、約9割の方から「興味深かった」、「役に立った」との回答を頂き、「素晴らしい活動に感動した」、「今後の活動の参考にしていきたい」といった前向きな感想が目立ちました。また、自由記入の意見欄には、直面している地域の課題として、高齢化

や担い手不足、耕作放棄地の拡大、土地改良施設の老朽化など多くの意見があがっており、これらの課題解決に向けた取組が期待されていることが伺えました。

津地域で初めてのつどいの開催でしたが、このような高い評価を頂き、今後も継続して欲しいという要望も多く頂いたことから、多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆さんの交流と情報交換の場となるよう、今後も継続していきたいと考えています。



事例発表



パネルディスカッション



パネルディスカッション



受付の様子



会場内の様子



受付ホールのパネル展示

「第3回松阪つどい～ネットワークを活用した多面的な取組による地域の活性化方法を学ぶ～」が開催されました。



畦地履正氏の講演

平成28年10月21日に大台町グリーンプラザおおだいで「第3回松阪のつどい～ネットワークを活用した多面的な取組による地域の活性化方法を学ぶ～」が開催されました。松阪市、多気町、明和町、大台町の管内の4市町や管外からも見学者があり、合計94組織240名の人が参加しました。

今回は大台町の伊藤主幹の働きかけで(株)四万十ドラマ代表取締役社長の畦地履正さんを講師にお招きすることができました。畦地さんには90分間という大学の講義並みの時間の講演をして頂き、四万十ドラマの商品の紹介を交えた、参加者を飽きさせない講演をして頂きました。前日の東京出張から戻られ三重県に来て夜遅くまで飲んでいたにもかかわらず、講演中は全く疲れを感じさせない畦地さんのパワーに恐れ入りました。

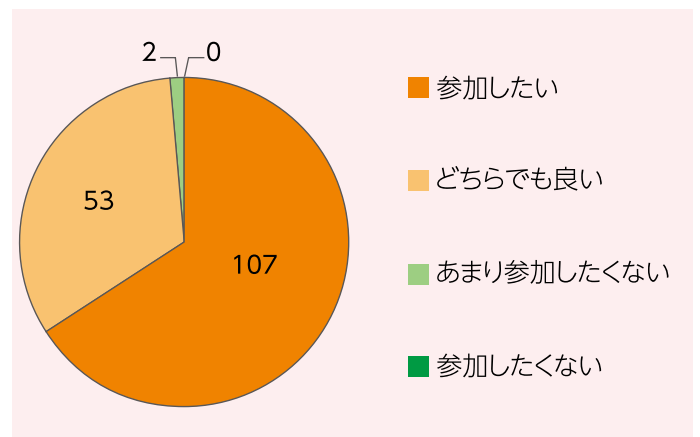
管内の取り組み事例発表では多気町の牧・集落営農部会、地域資源保全会の達井代表、村川書記兼会計が草刈や泥上げ、用排水路・道路の補修、パンジーやコスモスの植栽などの活動について発表されました。聞きやすい話し方をして頂きましたので主催者側としても見ていて安心できるありがたい発表でした。

事務手続きの注意点について三重県農地・水・環境保

全向上対策協議会の山下さんに講演して頂きました。参加者の中でも事務を担当されている方大変なことをみんなに判ってもらうことと、基礎的なことを再度確認してもらうために講演して頂きました。時間の関係上、質問の時間を取ることができなかったのが残念です。

参加された皆さんに今回の松阪のつどいの感想のアンケートを取りました。参加者のうち男性は152名、女性13名と圧倒的に男性が多くなっています。市町別では松阪市からは100名が、多気町、明和町、大台町から各々約20名が参加しました。年齢層は60代が102名と圧倒的に多く、次に70代が41名とその次に50代、40代となり、80代の方も2名参加されています。多面的な活動の主力は60、70代であることがよく判ります。また今回の松阪のつどいの各講演が今後の活動の参考になったかといった質問には回答のほとんどの160名以上の方が参考になると回答して頂きました。この結果を見る限り、参加者の皆さんに満足して頂いた内容であったと思われ、主催者として大変ありがたい結果となりました。さらに、今後もこのようなイベントに参加したいかという質問にはこちらも多くの方が参加したいと回答されましたので、来年もさらにパワーアップして松阪のつどいを開催したいと考えています。

来年は明和町での開催を予定しており、松阪管内の参加者のみならず三重県全域からの皆さんの参加をお待ちしております。



『第1回多面的機能活動『伊賀・名張のつどい』を開催しました!!

平成28年11月18日(金)ふるさと会館 いが 大ホールにおいて伊賀管内の活動組織約81組織や関係者320名が参加して、伊賀地域で初となる第1回多面的機能活動『伊

賀・名張のつどい』を開催しました。

本つどいでは、基調講演・事例発表会・講習会・ポスター展示を行いました。

基調講演では多気町勢和地域で活躍されている「多気町勢和地域資源保全・活用協議会」の高橋幸照様に勢和地域10集落で共同活動から始まった多面的活動の経緯を含めて、広域で多面的活動を行うメリット、さらにそこから広がる農村福祉の充実を目指して、生活サポートサービスを行う一般社団法人「ふるさと屋」の設立等のお話を頂き大変参考になりました。つどい終了後のアンケートについても、参加した方から感銘を受けた、感動したとのお声を頂きました。

次に、管内活動組織3組織による事例発表会を行いました。伊賀市から「上友生農地水保全会」と「コスモスの里比自岐保全協議会」、名張市から「矢川環境保全会」とそれぞれスライドを活用しながら発表をしていただきました。

① 「上友生農地水保全会」

小学生・幼稚園児・老人クラブを交えての環境保全に取り組んでいる活動や施設の補修状況や獣害柵設置について紹介されました。

② 「矢川環境保全会」

矢川地域ではまず地域を知ることから始まり、農地・非農家が参加して地域に生息する蜚の生育環境「ホタルの里」づくり整備に取り組んでいる様子や、世代間交流事業として「花いっぱい運動」等の環境活動などが紹介されました。

③ 「コスモスの里比自岐保全協議会」

伊賀市内の100を超える組織の中でも活動面積が13,376aと最も広く、交付金を有効に活用し、地域に点在する地域資源の保全長寿命化を行う様子や、秋には答志島の子供達との交流会で春に撒いたコスモスが咲いてコスモス祭りを行う様子を、ビデオを通して紹介されました。

休憩を挟み、東海農政局農地整備課多面的機能支払推進室 安里室長から「多面的機能支払のポイント」と題して、年度活動計画の策定のポイントや資源向上活動における機能診断等のポイントについての内容の講習会でした。参加者からは大変参考になったとの声も聞くことが出来ました。

ポスター展示では、ロビーに伊賀市、名張市の活動組織からたくさんのポスターや地域で配布する広報誌などが展示され、とても見応えがありました。

最後に次回開催地になる名張市農林資源室 吉岡室長の閉会の挨拶で、つどいは盛会に終えました。



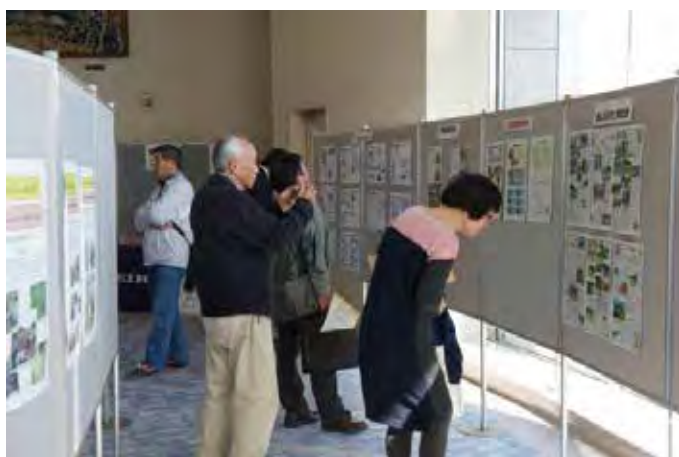
開会挨拶



多気町勢和地域資源保全・活用協議会の高橋氏による講演



東海農政局 安里室長による講演



展示を見入る参加者